

経営のヒント47 梟の悩み」

〜〜〜 故事寓話から学ぶ! 〜〜〜

中国の古典から、経営の本質や人間性を高めるヒントがいっぱいあります。

「自分が変わらなければ、相手を変えても同じこと」

説苑 雑語に、こんな話があります。

梟が鳩に出会って、「どこに行くのか」と訊かれた。梟が「東の村に引っ越すのだ」と答えると、鳩はさらに「どうしてだ」という

「村人はみんな私の鳴き声を嫌っている。だから東の村に引っ越すのだ」

と梟が答えると、鳩が鼻で笑って言った。

「お前が鳴き声を換えれば、すべて問題は解決する。鳴き声を換えなければ、いくら東の村に行ってもみんなお前の鳴き声を嫌うにきまっているさ」

身につまされる話です。梟の鳴き声は陰気で気味が悪い。しかし、そうはいわれても、梟の鳴き声は生まれつきなのだから、変えたくても変えることなどできるはずはない。人間の根性なるものも同じだろう

とはいえ、幸いにして人間には智恵がある。梟は嫌われる声で鳴くのをやめることはできないが、人は努力すれば嫌われる根性や性格などは直せないまでも、隠すことはできる。

世の中に出て行けば、自分の根性を押し通すだけでは生きていけないことがわかってくる。いわゆる、角がとれるというやつである。

よく自分に合わないからといって転職を繰り返す人がいる。

「認めてくれない!」自分の個性に合わない!」「嫌いな上司がいる!」

本当にそうなんだろうか?

自分に合わないからという理由で常に文句を言っている、誰も認めてくれるようにはならないような気がします。みんなに認めてもらう努力や工夫をどこまでやったのか? 今一度、振り返ってみる必要があるのではないのでしょうか?

いかがですか?

?? 「過去と他人」は変えられないが「自分と未来」は変えられる!

私が好きな格言です。

社員研修の仕事をしていますが、コミュニケーションが悪い組織では、みんな、部下も上司も常に上司や他人のせいにしてしていることが共通点です。

「自分を変えよう」とはせず、「相手が変わってくれば」では何も変わらない。

まさに「梟の巣」なんですね!

「自分が変わる!」それが一番重要なことなんじゃないかな。